お菓子屋だより

第99号 2015年10月20日発行

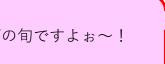


食欲の秋を堪能してくださいね!

申し訳ありませんが、おいしいお菓子をたっぷりとご用意しています。 ダイエット中の方、無駄な抵抗はやめて、お菓子を堪能してくださいね



10月~12月は、りんごの旬ですよぉ~!







新婚当時の二代目夫婦60年前、



夫婦の絆で、支えてきたお店です。

二代目店主夫婦は、ともに82歳。

最近は、体調を壊す事もありますが、お互いに励まし合って、

60年、ずっとお客さんのために、お店を支え続けてきた戦友です。

10月初旬には、2人そろって入院する事態になりましたが、

お互いを思いやる気持ちの強さで、見事に復活して、お店で活躍しています。

これからも清水は、この2人の「想い」を受け継いでいきたいと思います。



ひ孫を囲んで







入院中、助け合う2人→



巻きこみ女です。

ロールケーキを作るのが得意な三方(みかた)です。 とにかく彼女は、何でも巻きこむのが上手です。 嫁に行ったはずなのに、ご主人を巻きこみ、 まんまと、自分の実家に巻きこむ計画が進行中です。 来年には、ちゃっかりご主人を「マスオさん状態」にして、 自分の実家に取り込み完了予定だそうです。 気を抜くと、いろんなことに巻き込まれてしまいそうなので、 油断をしないように気をつけたいと思います。





泉の作品を探してくださいね。

自動ドアや、ショーケースなど、 店内のガラス面に、ステンドグラス風の絵が 貼られている事に、お気づきでしょうか? これらの作品は、販売スタッフ・泉の手作り品です。

物作りが好きで、手先の器用な泉は、このほかにも、手作りフェルト作品なども、 時々、お店に持ってきて飾ってくれています。

店内いろんな場所に、さりげなく飾っているので、いろいろ探してくださいね。 また、この「お菓子屋だより」のタイトルのイラストも、毎号、泉が描いています。→ 来月はどんなイラストでしょうか? 楽しみにお待ちくださいね。







サッカー型で行こう

お菓子屋で働く人は「野球型」よりも「サッカー型」の人の方が向いています。

野球は、監督のサインに従って、指示を受けて行動するスポーツです。

サッカーは、瞬時に状況が変わるので、自分で状況判断ができる選手でないといけません。

お菓子屋は、お客さんの数、売れ行きの変化などで、時々刻々と状況が変わります。

そんな時、自分で状況判断できずに、誰かの指示を待っていたのでは、

タイミングがズレて、商品が足りなかったり、余らせたりして、お客さんに迷惑をかけてしまいます。

製造スタッフの森は、学生時代にずっとサッカーをやっていました。

そんな彼だから、瞬時に状況を見極めて、自主的に行動できるはずなのですが、 まだまだ、ぼんやりしている事が多くて、しょっちゅうタイミングがズレまくりです。

でも、のほほ~んとしているところが、森の良いところでもあるので、どうしましょうかね?



作っている人は、無表情

いろんな顔が描かれたケーキが、

ショーケースに並んでいます。

あの豊かな表情は、職人が手作業で描いています。

一番上手に表情を描くのは、製造スタッフの瀬野です。

それなのに、瀬野ったら、いつも無表情。

何を考えているのか? 何を感じているのか?

その表情からは読み取れません。

それなのに、作るケーキは、とっても感情豊かです。

不思議な事があるものですね。



まーズは嫌いだけど、大好きです!

女性の好みって、複雑です。

でも、女性が好むモノを知るのって、難しいですね。

ほっこり堂スタッフの合田は、チーズ嫌いですけど、 プチチーズケーキの「しあわせチーズ」は大好きです。

販売スタッフの清水は、タコ嫌いのくせに、たこ焼きは好きです。 こんなにややこしい女性の好みを探るお菓子屋の仕事って、

本当に大変だなと、毎日実感しています。







元スタッフ・清水

私たちが厳しくチェックしているの で、



価格を決めている人たちです。

主婦の人って、毎日たくさんの買い物をするので、「お買い物のプロ」です。 激安店から高級店まで、いろんな目的で、あらゆるモノを買っています。 だから、商品の価格には敏感です。 ていうか、価格にうるさいです! 清水のスタッフにも、価格にうるさい主婦3人衆がいます。

新商品ができて価格を決めても、うるさい3人のOKが出ないと、販売できません。 いくら高級な原料を使おうとも、「高い!」と言われたら、お店に出せません。 また、値打ちのあるものを、安すぎる価格で売ろうとしたら、ダメ出しが出ます。 儲けがないと、自分たちの給料が心配ですからね。

そんなわけで、清水の商品は、世界一厳しい価格審査を受けて、お店に出しています。



カフェなのに、雑炊。

寒くなると嬉しいのが、温かい食べ物ですね。 ほっこり堂では、ランチに雑炊が登場して、 お客さんに喜んでいただいています。 雑炊が食べられるカフェなんです。 ほっこり堂の研究熱心なスタッフは、 お客さんに喜んでいただくためなら、 なんだって作る覚悟です。

今後は、鍋物メニューも加わってくるそうなので、

寒い日には、ほっこり堂に駆け込んできてくださいね。 超個性的なスタッフがお待ちしています。





今月のプレゼントクイズです。

今月も抽選で20名様に、

清水菓子舗の商品券500円をプレゼントします。

それでは問題です。

下に高松の建物のスケッチが6枚あります。

その中に、清水の三代目店主が、

シーロベルト非着用で捕まった交番があります。

1~6 の中で、どれでしょう?

答えは数字でお書きください。

クイズの答えは、同封した商品券の裏にお書きください。

商品券をお送りしますので、住所氏名も忘れずにお書きください。

お買い物際に、スタッフにお渡しいただければ、

割り引きと同時にご応募いただけます。

締め切りは、11月18日。

当選発表は、

発送にかえさせていただきます。















編集後記

この「お菓子屋だより」は、当店ポイントカード会員の方で、 高ポイント獲得のお客様に、お送りさせていただいています。





さて、秋も深まり、だんだん寒くなってきましたが、お元気でお過ごしでしょうか? 最近は、母親の体力が衰え、介護施設を利用させていただく事があるのですが、 母親の事を親身になって考えてくれる、素晴らしい介護士の方がたくさんいますね。 元気で優しくて、とっても気が利いて、ひとりひとりに応じた介護をしてくださいます。 介護の必要な高齢者は、全員、性格も、要望も違います。

マニュアルがまったく通用しない現場で、臨機応変に行動する姿勢を見ていると、自分の店で、こんな風な接客ができているのかと、反省しきりです。

お菓子屋にいらっしゃるお客さんは、すべて目的が違います。

それぞれのお客さんのご要望に少しでも応えられるように、

「人間力」をもっともっと向上させようと強く思いました。

